

Port of Hachinohe

No. **24**
Mar 2008

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 八戸港東南アジアコンテナ定期航路交流ミッション2007
- 中国・韓国航路寄港地変更
- 平成19年八戸港コンテナ貨物取扱量
- 青森リンゴミッション団 台湾を走る!!
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 八戸港の物流を支える人々

八戸港東南アジアコンテナ定期航路 交流ミッション2007



「八戸港セミナー」で挨拶する 八戸市長

八戸港国際物流拠点化推進協議会（会長：八戸市長 小林眞）では、11月12日から16日の5日間にわたり、台湾を訪問しました。

台湾は、八戸港のコンテナ貨物取扱量の1割を占める重要な貿易相手となっており、農水産物など日本食品の輸出先としても注目されています。

今回のミッションでは、八戸と台湾を結ぶ東南アジア航路の更なる利用拡大を目指し、八戸港をPRする「八戸港セミナー」を開催するとともに、関係機関等を訪問し、リンゴを始めとする青森県産品の輸出促進について意見交換しました。

また、八戸港の今後の整備方向及び貿易振興の参考にするため、基隆港を視察しました。

（関連記事2ページ）



高雄市政府訪問 右：林高雄市副市長



台北市進出口商業同業公会訪問 前列右から3人目黄總幹事

八戸港東南アジアコンテナ定期航路交流ミッション2007

八戸港セミナー及び情報交換会

台北市内において「八戸港セミナー」を開催し、貿易・物流関係者ら約50名に対し、八戸港及び青森県産品をPRしました。

セミナー後の情報交換会では、県産品の試食・試飲を行い、参加者の反応は良好なものでした。特に、「黒ニンニク」に対する反響が大きく、その理由として、台湾にはな

い珍しい商品であること、健康に良いこと、ガンを抑制する働きがあることが挙げられていました。また、ナガイモ焼酎やリンゴ加工品等も大変好評でした。現地では、目新しいもの、特徴のあるもの、そして健康に良いものを、「他にはない、自分だけの商品」として求めていることが分かりました。



セミナーの様子



展示した県産品



県産品を試食する参加者

売り込みへのアドバイス

複数の訪問先において、県産品の売り込みには、先ず視察をPRした方が効果的であるとのアドバイスをいただきました。例えば、台湾・青森県間のチャーター便開設や、台湾の人々が好む豊富な雪や温泉といった青森県の魅力を宣伝することにより、先ずは青森県に来てもらう。実際に見て、感じて、青森県に興味を持ってもらうことで、県産品の売り込みもしやすくなるということです。

近年、多くの日本の自治体が台湾マーケットへの進出を目指しており、自治体間競争に勝つには、いかに安全・安心で良い商品を安く提供できるかがポイントとなりそうです。

また、輸送時間等を考えると、商品が台湾の店頭に並べられる期間はかなり短くなるため、売り込むためには、賞味期限も大きな要素の一つです。



交流協会台北事務所での意見交換



青果物卸売市場内の小売店



東光船務代理股份有限公司訪問

基隆港視察

基隆港のコンテナ取扱量は、2006年が約213万TEU、2007年は約220万TEUと予想されています。24時間対応、航海・埠頭管理等のIT化、災害対応システム等を導入し、

ライバル港との差別化を図っています。更に、荷役や埠頭管理の民営化を進めており、ハード・ソフト両面で使いやすい港を目指し、積極的に取り組んでいるそうです。



左：蕭基隆港務局長



基隆港



洋上視察の様子

中国・韓国航路寄港地変更



中国・韓国航路

平成19年 八戸港コンテナ取扱数量（中国・韓国航路）

単位：TEU

順位	貿易相手港	コンテナ取扱量
1	釜山（韓国）	1,937
2	天津新港（中国）	1,449
3	上海（中国）	1,297
4	青島（中国）	851
5	大連（中国）	817

八戸港の中国・韓国航路（運航：南星海運株式会社）は、1月から寄港地が一部変更になり、大連港、青島港へ直接寄港しています。

両港とも、コンテナ貨物量において同航路の上位を占める主要な貿易相手港です。また、青森県と大連市は、「友好経済交流協定」を締結して以来、活発な経済交流が行われています。直接寄港により、両地域との貿易の利便性がさらに増すものと思われます。

大連港、青島港への月曜日便の他、天津新港に直接寄港する火曜日便があります。他の中国各港とも、自社船により釜山経由で接続していますので、どうぞご利用ください。

中国・韓国航路 寄港地	
月曜日便	釜山～新潟～苫小牧～八戸～富山新港 ～釜山～光陽～大連～青島～釜山
火曜日便	釜山～苫小牧～八戸～仙台～釜山 ～蔚山～光陽～天津新港～釜山

お問い合わせ先

南星海運株式会社 代理店 八戸港湾運送株式会社
コンテナ事業部 コンテナ営業課
〒031-8608 八戸市河原木字海岸16-4
TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119

青森県産リンゴ中国本土に本格輸出開始

12月27日、八戸港から中国本土に向け、青森県産リンゴが輸出されました。

八戸港からのリンゴ輸出は、これまで大部分が台湾向けで、中国本土への本格的な輸出は今回が初めてとなります。

近年、青森県やリンゴ業界などによる中国市場開拓の取り組みが成果を挙げつつあり、八戸港からの輸出量も増加することが期待されます。



中国で販売される県産リンゴ

.....Welcome to Hachinohe.....

大連市人民政府外事弁公室来八

1月28日、中国・大連市人民政府外事弁公室の王洪俊（おう こうしゅん）主任ら3名が来八しました。

これまで、平成18年11月に、小林市長を団長とする「中国・韓国コンテナ定期航路交流ミッション」が大連市で「八戸港セミナー」を開催しており、また翌年5月には、菅原副市長が大連市で開催された「大連・日本地方サミット」で八戸市の概要と港湾を使った経済交流についてプレゼンテーションするなど、八戸市は大連市との交流を進めてきました。

また、八戸港と大連港の間にはコンテナ定期航路が就航しており、大連港は主要な貿易相手港の一つとなっています。

今回、王主任は、小林市長に対し、両市の交流の継続・発展への期待を述べるとともに、9月に大連市で開催される「2008第8回アジア太平洋都市サミット」への大連市長からの招待状を手渡しました。

同サミットへの参加については未定ですが、大連市との交流が一層活発になり、八戸港の利用促進に繋がることを期待されます。



左から2人目：王主任

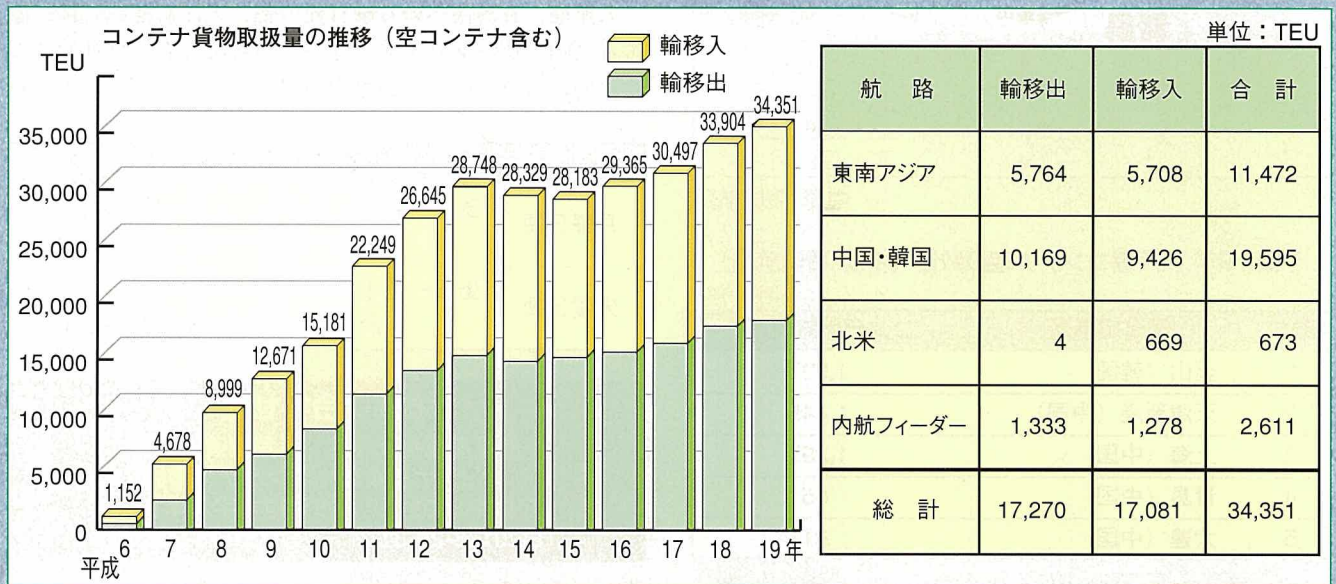
平成19年 八戸港コンテナ貨物取扱量

平成19年の八戸港のコンテナ貨物取扱量は、対前年比1.3%増の34,351TEUと過去最高を記録しました。

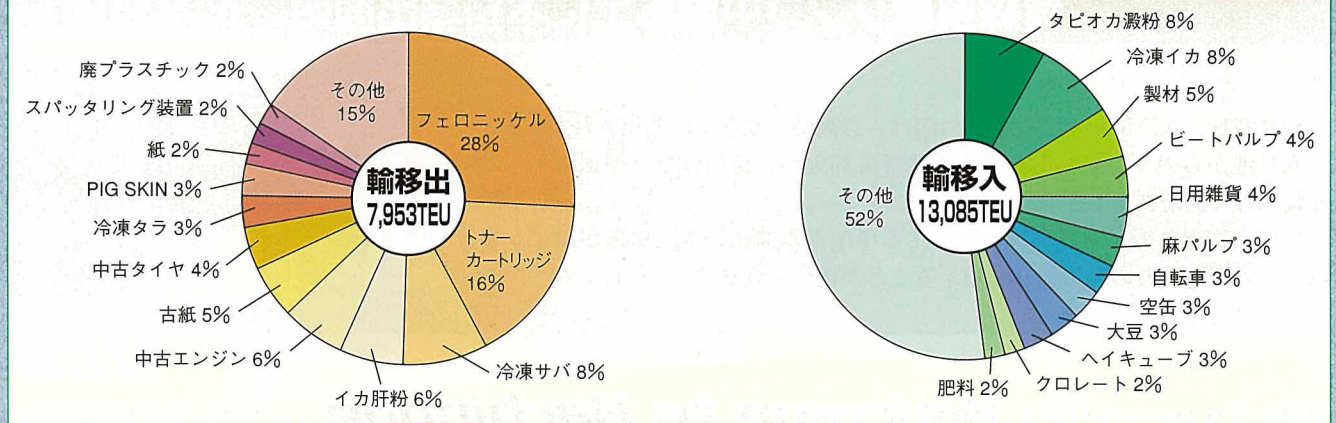
航路別にみると、東南アジア航路が、主要輸出品目であるフェロニッケルの減少等により、対前年比12.1%減となった他は、各航路とも前年の実績を上回りました。特に内航フィーダー航路が、トナーカートリッジの移出増加により、同33.8%増とその伸びが顕著です。

主な取扱品目は、輸移出では①フェロニッケル、②トナーカートリッジ、③冷凍サバ、輸移入では①タピオカ澱粉、②冷凍イカ、③製材が挙げられます。

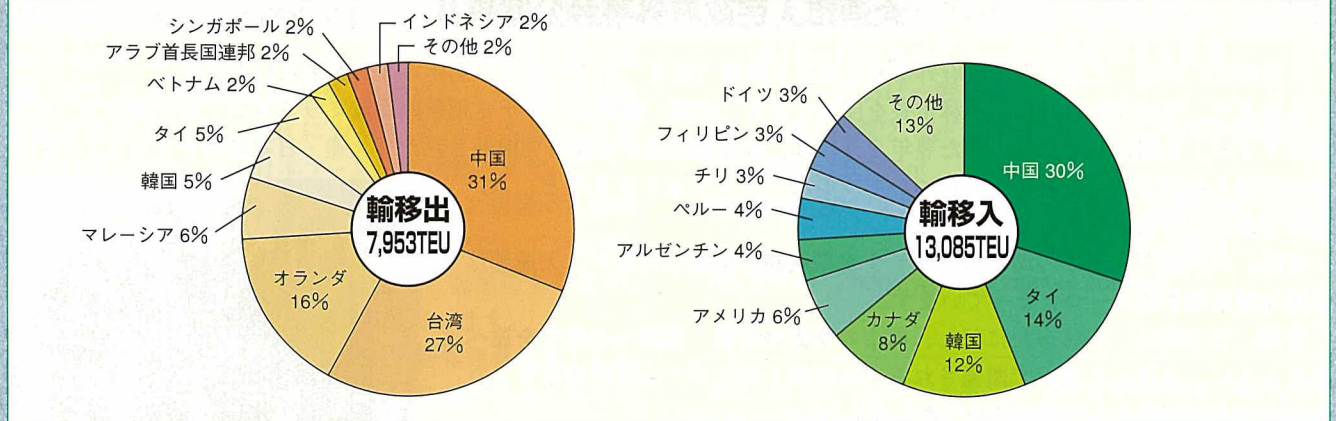
また、主な貿易相手国は、輸移出では①中国、②台湾、③オランダ、輸移入では①中国、②タイ、③韓国となっており、日本の最大貿易相手国である中国が全体の約30%を占めています。



品目別コンテナ取扱数量



国別コンテナ取扱数量



※「品目別コンテナ取扱数量」「国別コンテナ取扱量」は実入りの数字となります。
 ※単位のTEUは20フィートコンテナ換算です。

青森リンゴミッション団台湾を走る！！

青森リンゴの輸出量は年々拡大しており、平成18年産では2万トンを超えました。この輸出量の9割以上が台湾向けであり、台湾は国内市場と同様に重要な市場になっています。

本県産リンゴの安定販売を図っていく上で、台湾での一層の消費拡大が必要であることから、青山副知事を団長とする県と関係団体によるミッション団が、12月16日から18日までの3日間、台湾で青森リンゴのPR活動を行いました。

今回は初めて、「台北国際マラソン」でのPRに挑戦し、ミッション団一行は青森リンゴを宣伝するための横断幕を持って、約2kmのコースを完走しました。大勢の参加者が集まっている中で、「台湾加油（台湾頑張れ）」と書かれたうちわを約2千枚配布したところ、多くの台湾人参加者が

喜んで受け取ってくれました。台湾の人々が本当に親日的であり、しかも青森リンゴをよく知ってくれているということを実感しました。

その日の午後は、高級百貨店太平洋そごうで青森リンゴのPRイベントを実施しました。会場に集まった大勢の消費者に青山副知事とミスりんごから、青森県と青森リンゴのPR、そして日頃のご愛顧への感謝の気持ちを伝えたのち、早くから集まった消費者に県産リンゴをプレゼントしました。また、リンゴの売り場では、ミスりんごにより試食販売会も実施し、こちらも青森リンゴを求める消費者で賑わいました。

短い滞在期間ではありましたが、関係機関を表敬訪問し、青森リンゴの輸出拡大への協力を要請したほか、台湾第三の都市である台中市の市場調査も実施し、輸出拡大の確かな手応えを感じました。



太平洋そごう前でのPR



台北国際マラソンでのPR

お問い合わせ先

青森県 農林水産部 総合販売戦略課
宣伝・販売グループ

TEL:017-734-9607 FAX:017-734-8158

大連市で「青森・大連投資促進フォーラム」開催

9月13日、青森県は、友好経済交流協定を締結している中国・大連市において、「青森投資促進セミナー」と「ビジネス商談会」で構成する「青森・大連投資促進フォーラム」を開催しました。セミナーの会場となった大連フラマホテルには、大連市や遼寧省の政府関係者をはじめ、地元企業や観光関連事業者など約200名が集まりました。

セミナーでは、三村知事が、本県の優れた農林水産物、加工品などの特徴ある地域資源や、産業振興プロジェクトなど地域力を活かした産業創造の取組みのほか、本県の魅力ある自然、祭りや文化などの観光資源をPRしました。

2日間にわたった本県企業と大連市側企業とのビジネス

商談会には、本県側から農林水産加工や製造業、IT（情報技術）関連企業など16社が参加しました。商談会場では、参加企業ごとにブースが設置され、1社当たり約1時間で、約160件の商談が行われました。また、一部企業は、商談企業の工場見学まで行いました。この結果、商談成約（見込）額は、昨年度を上回る実績をあげることができました。

県では、今後とも、青森県の総合的な魅力を情報発信しながら、大連市を中心とする中国企業とのビジネス交流促進に向けた支援体制の充実を図ってまいります。



青森投資促進セミナーの会場



ビジネス商談会の様子

お問い合わせ先

青森県 商工労働部
海外産業経済交流推進チーム

TEL:017-734-9730

FAX:017-734-8119

「レストランdeみなとシアター」開催

12月8日、NPO法人 Acty の主催による「レストランde みなとシアター」が八戸市水産科学館（マリエント）で開催されました。

これは、(財)港湾空間高度化環境研究センター(WAVE)の「港・海辺活動振興助成事業」、市の「省エネ・新エネルギーの根活動助成事業」を活用して実施された企画で、約60名が八戸の美しい海を身近に感じながら、エコロジーな時間を過ごしました。

参加者は、マリエント5階の展望室に設置されたスクリーンで、映画「メッセージ・イン・ア・ボトル」を鑑賞し



会場の様子

ました。この映画は、恋愛映画の傑作として有名ですが、今回の企画テーマに通じる「海辺の町でのシンプルな暮らし」も描かれています。

その後、電気を使わず、キャンドルで灯りを採りながら、映画の中の食材を用いたディナーを味わい、ミニコンサートを楽しみました。

今回、映画の上映にはグリーン電力証書を購入し、また手作りのキャンドルで灯りを採る等、環境へも配慮しながら、幻想的な雰囲気の中、和やかな時間を過ごすことが出来ました。

※グリーン電力証書とは、自然エネルギー（太陽光、風力等）から発電された電力の「環境価値」を購入することによって発行され、証書代金は、自然エネルギー発電所に支払われます。購入者は自然エネルギーによる発電の推進に貢献することができます。

お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課

TEL:0178-43-9386 FAX:0178-24-6186

八戸港貿易センター施設利用ご案内

(株)八戸港貿易センターでは、各種会議・展示会・セミナー等にお使いいただけるよう、多目的ホール（ポトラホール）と大小会議室をご提供しています。音響設備・移動式ステージなどを無料で貸出するほか、駐車場も無料でご利用いただけます。

F A Zメンバーズ・八戸港貿易センター株主には料金ご優待制度があります。

どうぞお気軽にご利用ください。



3階大会議室

■施設利用料金（金額は消費税込み）

- ◎多目的ホール 面積：350㎡（100坪）
料金：6,090円／1時間
- ◎大会議室 面積：168.7㎡（50坪）
料金：2,625円／1時間
- ◎小会議室 面積：67.5㎡（20坪）
料金：1,050円／1時間

注：準備・片付けに要した時間は上記料金の7割となります。

※当社では学校の社会科見学、団体等による港湾視察など随時受け付けています。貿易資料の提供や説明も無料で行っておりますので、是非ご活用ください。

お問い合わせ先

(株)八戸港貿易センター

TEL：0178-72-1505 <http://www.hptc.co.jp>

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成20年3月現在、海外在住（天津、香港、シンガポール、マニラ、タコマ）の5名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市産業振興部産業政策課（TEL0178-43-9244）までご連絡ください。

REPORT

タコマレポート



タコマ・ピアスカウンティ商業会議所
（米国ワシントン州）マネージャー
ゲーリー・ブラケットさん

タコマ・ピアスカウンティ商業会議所は第20回ピアス郡経済指標年次報告を発表しました。この報告書は、

<http://www.tacomachamber.org/chamberprograms/BusinessTrade/pdf/FINAL%20horizons%202008small.pdf> から入手可能です。地域の2007年経済成長率は、主に国内経済要因により低調でしたが、それでも国全体の数値を上回りました。2008年の経済も、ほぼ同様となる見通しです。

●州の景況

州の経済・歳入予測協議会は、2007年ワシントン経済情勢調査を発表しました。この調査は、米国内の他州に対する州の競争力について情報を提供しています。

今年の景況調査では、41のベンチマークと指標のうち39が更新されました。前年比の実績を示すベンチマークと指標37のうち、改善が24、悪化が9、横ばいが2、改善・悪化の混合が2でした。報告書の全文が www.erfc.wa.gov に掲載されています。

州の経済は改善が続いています。就業者数の伸びを2004年比で見ると、国全体の4.5%に対し8%でした。2008年の実質個人所得は4.4%増加すると予測されます。賃金・給与所得者数も、2008年1.8%増加すると見込まれています。

ワシントン州の課税対象小売売上高は、歳入局の報告によると、2007年第2四半期に7.9%増加して298億ドルでした。小売取引高は、2006年第2四半期比4.5%増の128億ドルになりました。小売取引高は課税対象小売売上高の一部であり、小売店舗での売上のみを記録し、建設など変動の大きな部門を除いています。

ピアス郡の小売売上高は4.3%増の32億ドル、タコマの小売売上高は4.7%増の12億ドルでした。

●タコマ港

この地区の経済を牽引しているタコマ港は、引き続き好調であり、

取引水準を維持するとともに、将来の成長に向けて新たな準備を開始しています。

MOL（商船三井）は、2008年1月、タコマ港のワシントン・ユナイテッド・ターミナルズ（WUT）への寄港を開始しました。以前の寄港先は、イーグル・マリン（APLの子会社）が管理しているシアトル港の第5ターミナルで、MOLはそこで、平均して週に1回積み込みを行い、取扱量は約4,000TEUでした。WUTが現在サービスを提供している先は、MOL、APLとともにニュー・ワールド・アライアンスを結成している現代商船です。

港湾コミッショナーは、8億1,200万ドルの設備建設予算を承認しました。この内容は次のとおりです。

- 土地取得について
1ダース以上の区画取得および既存業務の移転⇒1億2,100万ドル
- 日本郵船のターミナル建設について
168エーカーのターミナル建設⇒3億ドル
インフラ整備（道路と鉄道）⇒8,100万ドル
- TOTE移転について
TOTEのターミナル、他の拡張に合わせるための移転⇒1億1,100万ドル
- 新ターミナル建設について
新ターミナル（カイザー・アルミニウムの工場跡地）建設⇒1億9,900万ドル

港も、60エーカーの空きスペースを保つため拡充しました。コミッショナーは、北東タコマにある森林2箇所の購入を承認しました。ジュリアズ・グルチおよびストーリー・ピットとして知られている2つの地所の購入は、タコマ港の産業活動と北東タコマにある近隣住居区域の間に緩衝地帯を維持するためです。

31エーカーのジュリアズ・グルチは、カスケード・ランド・コンサーバンスィーとの4万5,000ドルの管理契約によって、空きスペースを維持することになります。ストーリー・ピットについては、このうちの約6～7エーカーが開発に適しており、残り29エーカーが空きスペースとしてジュリアズ・グルチと合体する予定です。

タコマ港とオリンピア港は、メイタウンのサウス・サウンド・ロジスティクス・センターについての公開ヒアリングを1月中旬に行いました。

ワシントン州運輸局は、ダウンタウンと港湾工業地区を11番ストリート経由で結ぶムレイ・モーガン・ブリッジは建設から94年経っており、劣化のため閉鎖すると、タコマ市協議会に伝えました。これにより遮断される輸送路をいかにカバーするかは、まだ決定されていません。

八戸港の貿易概況報告（平成19年1月～12月）

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
日本貿易振興機構（JETRO）八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

平成19年の八戸港の貿易概況は、輸出額がフェロニッケル・船舶・魚介類等の好調により6年連続の増加、輸入額がニッケル鉱・とうもろこし・ウッドチップ等の好調により2年連続最高額を更新した。また輸出入額全体では、共に好調のため2年連続2,000億円を突破した。貿易額のうちコンテナ貨物通関額は、前年比4.9%減の873億8418万円、コンテナ貨物通関本数は、前年比0.7%減の21,305TEUとなった。

■平成19年1月～12月の貿易額（単位：千円）

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計（八戸港・むつ小川原港・久慈港）から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	5	18,230,000	100.0%	187.8%
フェロニッケル	MT	100,472	79,036,295	75.6%	127.4%
有機化学品	KG	1,304,570	438,877	76.0%	79.3%
紙 製 品	MT	1,985	180,042	89.6%	90.7%
一 般 機 械			20,706,231		93.9%
鉄 鋼 製 品	MT	3,688	1,154,863	243.0%	244.0%
飼 料	MT	7,201	434,831	109.3%	118.4%
魚 介 類	MT	17,488	2,232,229	103.6%	130.3%
鉄 鋼 く ず	KG	33,288,788	1,568,430	74.9%	111.8%
電 気 機 器			55,747		31.1%
そ の 他	—		3,184,594		136.5%
合 計	—		127,222,139		125.9%

●コンテナ貨物通関額（ ）内は対前年比

輸 出	652億4367万円（112.1%）
輸 入	221億4051万円（65.6%）
合 計	873億8418万円（95.1%）

●コンテナ貨物通関本数（ ）内は対前年比

輸 出	7,931TEU（97.5%）
輸 入	13,374TEU（100.4%）
合 計	21,305TEU（99.3%）

輸 入

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	802,411	16,905,219	103.0%	115.4%
とうもろこし	MT	876,973	24,080,513	99.0%	156.4%
ニッケル鉱	MT	2,236,810	37,329,199	93.0%	167.4%
木 材	CM	40,983	1,256,362	63.1%	70.2%
亜 鉛 鉱	MT	102,050	13,244,729	67.3%	72.4%
亜 鉛 さ い	MT	14,741	2,003,726	50.6%	55.2%
大 豆 粕	MT	224,708	8,703,829	80.0%	98.6%
魚 介 類	MT	17,003	5,567,757	171.5%	139.4%
飼 料	MT	44,580	1,541,209	96.0%	99.5%
石 炭	MT	772,330	7,617,456	107.0%	130.4%
こうりゃん	MT	147,166	4,101,267	87.5%	134.3%
ウッドパルプ	MT	26,586	2,255,007	173.3%	206.8%
カ オ リ ン	MT	138,580	3,593,337	90.6%	97.5%
肥 料	MT	16,731	509,392	99.0%	111.0%
コークス等	MT	92,224	2,679,222	72.7%	87.9%
鉛 鉱	MT	47,948	8,916,931	122.9%	342.3%
金 属 製 品	MT	6,143	1,601,881	104.3%	88.9%
その他穀物	MT	13,712	367,313	183.8%	297.4%
糖 蜜	MT	7,547	111,601	108.8%	89.7%
一 般 機 械			1,797,796		80.9%
そ の 他	—		27,845,334		96.1%
合 計	—		172,029,080		119.9%

台湾最大の国際食品見本市 『FOOD TAIPEI 2008』の ご案内



日本貿易振興機構（JETRO）
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

現在、日本の農林水産物・食品は、海外における日本文化への関心の高まり、日本食が健康食品であるとの評価の浸透、さらに品質の高さに対する信頼等が相まって、海外市場を拡大する好機となっています。ジェトロは、日本食や農林水産物の輸出に取り組んでいる生産者や流通業者、団体等による輸出促進活動の支援を目的として、6月に台湾台北市で開催される『FOOD TAIPEI 2008』に「日本ブース」を出展します。

『FOOD TAIPEI 2008』は、食品・食材分野に関連する台湾食品業界最大のイベントで、毎年ご好評をいただいています。会場では、食材の確保や選定、生産、加工、包装に至るまで、優れた製品とビジネスチャンスで満ち溢れています。

台湾は、香港と並んで東アジア地域への情報発信基地としての役割を果たしており、日本食品を最も積極的に受け入れている重要な市場の一つですので、今後の海外市場開拓のご参考に、ぜひご参加ください。

【見本市概要】

展示会名：FOOD TAIPEI 2008（第18回台湾国際食品見本市）

会 期：2008年6月18日（水）～21日（土）

※18～19日はバイヤー等関係者のみを対象。

20～21日は一般公開。

会 場：台湾ワールド・トレード・センター（TWTC）南港ホール
会場面積：23,000㎡

前回実績（2007年）：出展者数—615社、出展国数—39カ国・
地域、来場者数—32,018名

ウェブサイト：http://www.foodtaipei.com.tw/

ジェトロでは、この他にも見本市・展示会等の情報をご案内しております。詳しくはホームページアドレス <http://www.jetro.go.jp/matching/> でご確認の上、ジェトロ青森貿易情報センターまでお問い合わせください。

八戸港の物流を支える人々

～八戸港多目的国際物流ターミナル～



ターミナル入口



ガントリークレーン



ストラドルキャリア



コンテナヤード



コンテナ船

古くから漁港として発展してきた八戸港ですが、昭和39年に八戸市が新産業都市に指定されて以降、八太郎地区や河原木地区で港湾整備が進められ、臨海地区への基礎素材型産業の集積により、商港、工業港としての重要性を高め、取扱貨物量は北東北最大を誇るまでになりました。

近年、世界では海陸一環輸送に適応したコンテナ輸送により、荷役の効率化が進められています。こうした中、八戸港でも平成6年に、東北初の国際コンテナ定期航路となる東南アジア航路が開設されました。更なるコンテナ貨物の増大に対応するため、平成13年4月に八太郎2号埠頭において八戸港多目的国際物流ターミナルが供用を開始しました。

八戸港多目的国際物流ターミナルは岸壁延長260m、水深13mで、コンテナヤード面積が約5.9ha、コンテナ蔵置能力は1,340TEUとなっています。管理棟と検査棟が各1棟あり、通関手続きなどが行われています。冷凍・冷蔵コンテナのためのリーファプラグを50個備えており、漁業の町八戸の水産物への対応も可能です。コンテナ船とヤードの間でコンテナの揚げ積みを行うガントリークレーンは、当初は1基でしたが、平成14年に増設し2基体制となりました。他に、コンテナを重ねて運搬・整理するためのストラドルキャリアが4機あり、効率的なコンテナ輸送に活躍しています。

八戸港のコンテナ定期航路は、平成10年には中国・韓国航路と北米航路が開設され、翌年には横浜との内航フィーダー航路、平成18年には東京との内航フィーダー航路と、着実にそのサービスを広げてきました。東南アジア航路が開設された当初の扱いコンテナ（空コンテナを含まない）数は、年間800TEUに満たないものでしたが、その後、順調に推移し、平成19年には21,000TEUを超える量となっています。

最近、全国的に農林水産物の輸出促進への取組が積極的に行われています。青森県も、その代表的な産品であるリンゴを始め、ホタテやナガイモ等、様々な産品の輸出可能性が高まっており、コンテナ輸送の重要性は今後も高まっていくものと思われます。

八戸港は、その立地条件からも青森県内のみならず、岩手県北、秋田県北など、広い地域からの集荷が見込まれており、国際物流の拠点港としてますますの発展が期待されます。

お問い合わせ先

青森県三八地域県民局地域整備部

八戸港管理所

TEL : 0178-28-2105 FAX : 0178-20-4746

	コンテナ航路	船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港)、韓国(釜山、光陽)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、南米、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(大連、青島、天津新港) [接続地] 中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地
		井本商運(株)	八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 東京 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	3	4
光陽(韓国)	4	5
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	7	6
高雄(台湾)	8	7
香港(中国)	9	9
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津新港(中国)	6	7
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	12	11
シンガポール	14	14
ジャカルタ(インドネシア)	16	16
バンコク(タイ)	18	17
レムチャパン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	19
ホーチミン(ベトナム)	18	16
ハイフォン(ベトナム)	10	12
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	23	24
オークランド(ニュージーランド)	30	32
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルグ(ドイツ)	34	36
ロッテルダム(オランダ)	33	36
アントワープ(ベルギー)	37	34

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL: 0178-29-0202	FAX: 0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL: 0178-29-3177	FAX: 0178-29-3119
新丸港運送株式会社	TEL: 0178-20-2321	FAX: 0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL: 0178-28-2401	FAX: 0178-28-6976
三八五流通株式会社(八戸区域事業所)	TEL: 0178-52-7755	FAX: 0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL: 0178-27-3311	FAX: 0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL: 0178-20-1651	FAX: 0178-20-2444
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会		
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫		



貿易Q&A

(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

Q 船積書類って何ですか？

A 船積書類として必ず求められるものは次の三つです。

一つは商業送り状、英語ではCommercial Invoiceといい、輸出者が輸入者に向けて作成します。輸出貨物の品名・価格・数量・買主等が記載され、明細書と請求書を兼ねるほか、輸出入の申告におけるベースになります。

次に船荷証券、英語ではBill of Lading、略してB/Lと呼ばれています。船会社などの運送業者が発行するもので、輸出者にとっては貨物を運送業者に引き渡したことを証する受取証であり、運送業者から見ると、荷主との間で運送条件を示した輸送契約書になります。また、輸入者にとっては貨物の引取りに必要な引換証であり、貨物の所有権を証する有価証券です。

三つ目として梱包明細書、英語ではPacking Listといいます。貨物の梱包状況と、その中味の明細が記載され、税関への申告から輸送の積込み、輸入者への引渡しまで不可欠な書類です。

編集後記

本誌記事で紹介したミッションの訪問先、台湾では、昨年9月から、日本で取得した運転免許証と、中国語による免許証の翻訳文を携帯することで、運転できるようになりました。有効期限は台湾入国から一年間、免許の翻訳文は日本自動車連盟(JAF)で発行してもらえます。

通常、海外で自動車を運転する場合は、国際免許を取得しておくか、現地の免許に切り替える手続きが必要ですが、スイス、ドイツ、フランス、イタリア、ベルギーでも、台湾と同じように翻訳文を携帯することで運転できます。

勝手のわからない海外では、事故にあわないように注意したいものですが、台湾では、日本に比べると運転マナーはかなり荒いようです。「横断歩道でも歩行者優先ではない」とまで言われていて、歩行者用信号が青でも十分注意が必要です。万が一台湾で事故にあった場合、警察を呼ぶのは110番、救急車は119番です。日本と同じ番号ですから覚えやすいですね。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市産業振興部産業政策課内

TEL:0178-43-9244 FAX:0178-47-5687 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/~hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp